

桃澤茂春 とくさけ しげはる 畫家、歌人。明治六年一月十四日長野縣上伊那郡飯
島村生れ。二十九年八月二十七日歿（八七三—九〇六）。本名重治。別號
如水、如水居士、桃畫史、茂春生。二十二年上京、橋本雅邦の門に入
り、傍ら黒川道軒の國文、和歌を學ぶ。二十五年東京美術學校繪畫科
入學、翌年國畫、香取秀真等と歌誌を發刊。卒業後病を獲く歸郷。二
十一年再上京、正岡子規の師事し浪岸詩歌會の列席。子規歿後は伊勢
の赴き、東京高田派總本山專修寺附屬勸學院の國文教師兼金部監の務め
とありしが、病死。

山田良春著『桃澤茂春の伝』(昭和五十九年十月二十日長野・信毎書
籍出版センター)刊。